

科目名		発想法				年度	2025
英語表記		Way of thinking				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アイデア発想（１）	・個人やチームでアイデアを発想 ・アイデア発想手法（ブレインストーミング、弁証法）を実践	1	他者の意見の尊重	・他者の意見を尊重する ・批判を避ける	2	
2	アイデア発想（２）		2	発想手法の実践	・ブレインストーミングや弁証法などの手法を実際に体験する ・それぞれの手法がもたらす利点や適用シーンを理解する ・これらの手法を適切に使い分けられる	2	
3	アイデア発想（３）		3	フィードバック	参加者同士でフィードバックを交換し、どのアイデアが有効であったのか、どの手法が最も効果的であったのかを共有する	2	
4	アイデア発想（４）						
5	思考方法（１）	・思考方法（ロジカルシンキング、クリティカルシンキング）を実践	1	基本的な思考法の理解	ロジカルシンキングとクリティカルシンキングの定義や特徴を明確に理解する	2	
6	思考方法（２）		2	実際の問題を使った練習	実問題に対して、ロジカルシンキングやクリティカルシンキングを適用する	2	
			3	アウトプットとフィードバック	自らの思考をアウトプットするとともに、他者からのフィードバックを受け取る	2	
7	ビジネスにおける思考法（１）	・思考方法（デザイン思考、逆算思考、Why思考）を実践	1	各思考法の特徴と適用シーンの理解	各思考の特徴や強みを理解する	2	
8	ビジネスにおける思考法（２）		2	実際のビジネスケースを利用した実践練習	実際のビジネスシチュエーションを想定したケーススタディやシミュレーションを通じて各思考法を適用する	2	
9	ビジネスにおける思考法（３）		3	思考のプロセスと結果の共有とフィードバック	グループワークやディスカッションを通じて、学生たちが自らの思考プロセスや結果を他者と共有する	2	
10	ビジネスにおける思考法（４）						
11	分析手法（１）	・分析方法（相関分析、時系列分析）を実践	1	基礎知識と理論の理解	各分析手法の基本的な原理や概念をしっかりと理解する	2	
12	分析手法（２）		2	実データを用いた分析の実践	実際のデータセットを用いる実習を通じて、解析ツールの操作を習得する	2	
			3	分析結果の報告	分析結果の可視化、主要な洞察の抽出を行う	2	
13	課題解決のためのアイデアの立案と発表（１）	・授業で学んだことを活用して、成果物にする	1	統合的な思考法の習得	それぞれの思考方法や分析手法を実際の課題や状況に応じて適切に組み合わせる	2	
14	課題解決のためのアイデアの立案と発表（２）		2	チームワークとコミュニケーション	効果的なチームワークの方法やコミュニケーションスキルを習得する	2	
15	課題解決のためのアイデアの立案と発表（３）		3	実践を通じたフィードバック	自らのアイデアや解決策を発表し、他者からの意見や評価を受け取り、改善や再考を行う能力を習得する	2	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							